

滞歐雜記帳（その七）

工學士 山本峰雄⁽¹⁾

6. スカンデナビヤの旅（2）

閑寂なフラームの村の夜は快い眠りを與へて呉れた。いやが上に静寂な朝の光に眠を覺して窓を開けると、黒碧の水を湛へた峠灣が朝の大氣の中に静まりかへつて、前庭の華かなチューリップの色、爽かな林檎の花を浮出しにして居る。清冽な水に峠湾の氣を味ひ新鮮な牛乳に豊かな榮養を夢みた後に、思出多いフレー



第1圖 峠湾の村（著者）

トハイムホテルを後にして小さな埠頭に待つ遊覧船に乘込む。我々の遊覧船は豫定の如く8時に纜を解いて深い峠湾に出た。朝の静寂を破る汽笛が、甲板に佇む我々の耳に強過ぎる振動を傳へると、やがて兩側の切立つた岩山に反響した數回の木塊が大氣を振はせた。西側の山の頂きは早くも朝日に照輝いて、灰黒色の岩肌が赤橙色に染變へられて居たが、深い谷底の水の上には淡い蔭が残つて居る。波一つない深淵の中央に出て振返つて見ると、フレートハイムホテルは花に囲まれた白い壁をくつきりと浮上がらせて我々の船を見送つて居る。

(1) 航空研究所

峠湾は海に向つて下るに従つてその幅を狭め、水は愈々静かである。兩岸の岸壁は時に高さ200米にも及び、岩肌には氷河が削つた跡が斜めの條紋を刻んで居る。船の行手は岩又岩の山が立ふさがつて、我等の行手を阻むかと見えるが、近づけば

やがて此の中に一條の水路が開けて、我々を迎へて呉れるのであつた。此の一條の水路は大型の軍艦の通航をも許す深淵であつて、其の水の冷く

黒く且つ波一つ無く濶んで居る有様は、一種の凄惨な氣持を起させなくては止まない。のみならず峠湾の水の上の大氣も、寂として太古の靜けさを湛えて汽船の煙りは淡青色に一筋の縞を、長く峠湾の水面に残して行く。

フレートハイムの村を離れて1時間の後に、我々の遊覧船はソグネフィヨルドの主灣に入つて、峠湾の幅は遽かに廣まり、兩岸に屹立する山もそのスケールを増し、灣上の空氣も明るくなつて來た。一條の自動車道路が山裾の岸を縫つて、危げに通つて居るのが望見される。空の碧みも幅を擴げて、遠く雲を戴いて屹立する山々に延びて居る。

主灣の左岸を航行する事僅か數分にして、我々

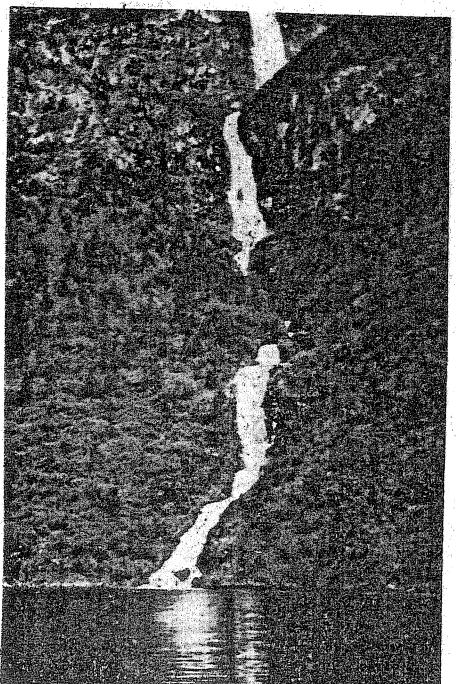
の船は左に急旋回して再び狭い支湾に入つた。四邊の風物は再び陰鬱に濶んだ霧圍氣を與へたが此の支湾はフレートハイムの支湾と異つて、様々な物珍しい風景を展開して我々を樂しませた。

雪を戴いた高山に包まれた谷底に、峠湾に面して小さな村落が水に影を映して居る。白い壁、赤い屋根の華かな家々は、谷に沿つた僅かの緩かな斜面に咲いたお花畠に似て、我々の旅情を慰めて呉れるのであつた。實に太古の静寂の中に取残された之等の村落は、今や春を迎へて天地の恵みに沁浸つて居るかの様に、冷厳な北國の自然の中に一點の和かな霧圍氣を漂はせて居るのだ。

峠湾に面した谷が盡きると、忽ち峨々たる岩山が魁偉冷酷な姿を現はした。而して其の頂きが次第に高まつて平らに落付いた所に、黒い岩肌を傳はつて直下100米以上に及ぶ純白の滙がかゝつて居るのであつた。狭い水路の上の汽船からは如何なる廣角レンズを以てしても、其の全貌を寫し取る事は出來ないであらう。波一つない水面には其の影が白く尾を引いて居る。岩山の頂上の凹地に集まつた雪融水が集まつて、峠湾に溢出する勢は滔々たる奔流となつて下り、懸崖の岩に割かれて細く別れるかと思へば、再び集まつて一條となる。

其の變化の美しさは我々を醉はすのである。千變萬化の兩岸の風物に魅了されて船尾に佇んで居ると、やがて一人の水夫がノールウエーの國旗を手にして上つて來てポールに國旗を掲げた。それと共に白い鷗が船尾のシラージュを追つて活潑な飛行を始めた。我々は目的地ゲートウェイの小港も遠くはないことを知つた。

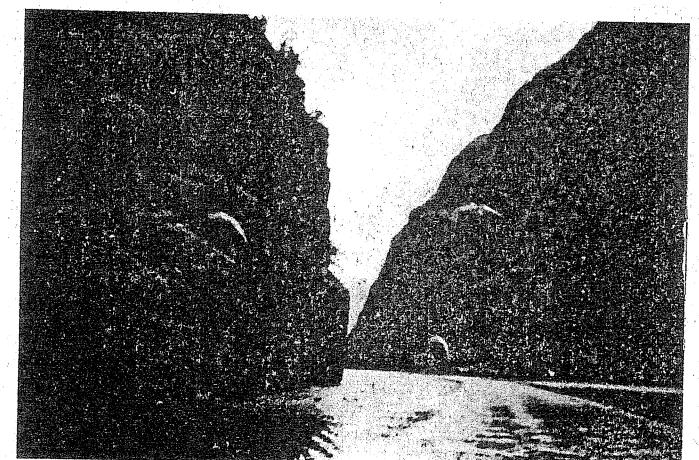
翼端に一條の黒い縞が入つた鷗は其の數を次第に増して無慮數千羽を



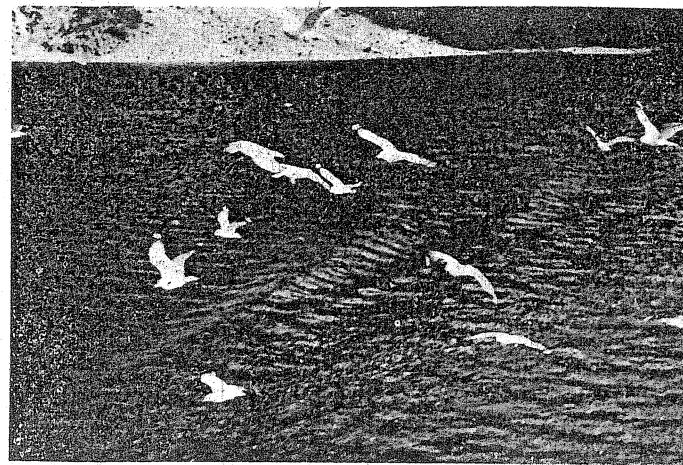
第2圖 峠湾の滙

數へるに至つた。風の死んだ峠湾の中を飛行する鷗は、白い鳥の如く忙しく羽根を動かし、入亂れて船の厨房から投げる朝食の残滓を追つた。その白くあはただしい羽搏きは、黒碧色の水面と灰黑色の岩山を背景として様々な絆模様を織出した。

フレートハイムの村を出てから2時間半の後



第3圖 峠湾の水路（著者）



第4圖 峠灣の鳥（著者）

に、支澗の奥端グートワーゲンの小港に着いた。棧橋には多數の外國人の遊覧客が、我々の船を待受けて居た。我々は有名なソグネフィヨルドの一端に觸れたのみであるが、然かも峠澗の示す驚くべき造化の妙は之を充分に味はつたのである。

グートワーゲンの村はフレートハイムと異つて不潔な印象を與へた。埠頭に待つ恐ろしく古物のタクシーを避けて小型のバスに乗り、峠澗に別れを告げ谷合の道を溪流に沿つて上る。若緑に萌出した白樺の芽と、響々と下る雪融水と梢を渡る小鳥の聲に早春の氣を感じ、上高地の初夏を思出すのであつた。やがて道は雪融水に洗流された橋で阻

た。スタールハイムからは緩かな下り勾配となつて、無數の農家を點散する人里に出て、既に春は齧となつた。

時々山羊の群が行手を遮つて、我々の車を停めた。牧童がバスの前に立つて山羊の群を左右に分けると首につけた鈴をならして山羊は丘の傾面を渡つて行く。山羊の群の後方には5人の農夫が静かに山羊の群の通過を待つて居る。晝近く遂にオスローベルゲン鐵道の一驛フォスに着く。フォスは山を背に湖を前にした古びた町である。湖に面したフライシヤースホテルに落付く。二階の部屋からは湖と其の向ふに雪を頂く山々を一望に見晴らす事が出来る。

湖でとれた魚や前菜で再び豪華な食事を楽んだ後湖の畔の牧場を散歩する。汀にはお花畠の様に一面に黄色の野花が咲き亂れ、白樺の並木は碧い空に亭々と梢を伸ばして居る。花に埋れて北國の春に浸り、峠澗の思い出を語り、やがて清淨な空氣の中に眠氣を催してうつらうつらとしてしまつた。



第5圖 フォスの湖（著者）

まれて居た。數人の工夫が山から木を切出して橋を架けて居た。我々は此處でバスを下りて溪流の對岸に渡り、此處で早春の山裾を散歩しながら乗継ぎのバスを待つた。30分の後に大型バスに乘換へた我々は、急峻な山道をスタールハイムに向つて上つた。若緑の新芽の萌える梢の蔭に溪流は愈々急湍となり、眺望はすばらしくなつて來た。1時間の後には有名なスタールハイムの瀧を見てスタールハイムホテルに停つて少憩した。

まふのである。

湖の畔の諾瑞戰爭の記念碑を訪れ町に出ると物珍しげに子供が集つて来る。總のついた赤い學帽を被り、細い杖を持つた中學生と共に寫真をとり、買物等をしながら時を過し、フォスの町の概念をつかむ。

静寂な峠澗の天地に英氣を養つた我々は其夜の汽車で再びノールウエーの背稜山脈を越え、翌31日の朝にはオスローの驛に着き、驛の小レストランで簡単な朝食を流込んだ後

にゴーテボルグ行きの列車に乘込んだ。行きには空から見た景色を車窓に樂しみ夕方にはゴーテボルグの町に入つたのである。ゴーテボルグの町は工業の中心として活氣を呈して居ると共に美しい森林公園を持つた床しげな町である。夜は私の誕生日を祝ふ爲にI氏と2人でタクシーで海岸の料理屋に行つてワインの杯を擧げる。十三夜の月が水平線の上に出て、海岸に散步の人影が動き、屋内ではダンスが齧である。一角に席を占めてダンスのグループを眺めて居ると、2人の青年が話かけて来る。船員として日本に度々行くのだと云ふ話をなつかしげにするのであつたが、我々と話は餘り合はない。早々にして引上げる。

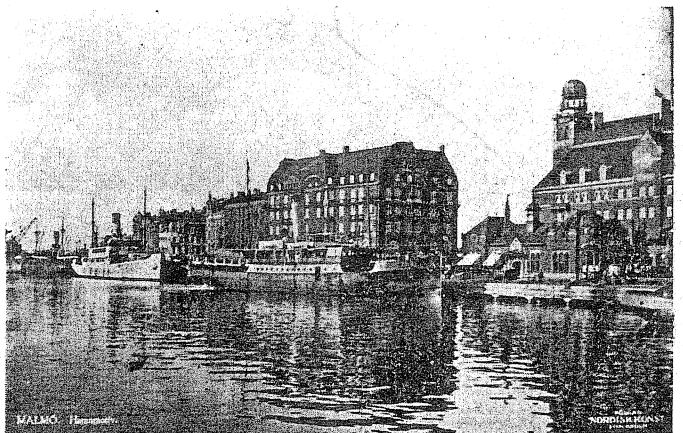
翌日はI氏と別れて獨りで有名なSKF工場の見學である。町の外れに近い薄汚い通りに面した、5階建煉瓦造りの古い建物がその工場であつた。世界の主要工業國6ヶ國に12個の工場を有し瑞典の木炭鐵を原料として世界最優秀の球軸承と轉子軸承を製作し其名は世界の隅々迄知られて居る工場としては些か古めかし



第6圖 フォスの町

くて貧弱な感がないでもない。

工場は4階の各階に縦に配置されて居て重い工作機械を置く工場としては珍しいものである。ホフォルスの製鋼工場で作られた棒材から軸承のレースを作り又引抜線から球を作る所を順次に見せて貰ひ、又其の検査を見學する。何れも話に聞いて居たものと同じで他奇あるものではない。勿論相當數の自動機械を用ひ、球やレースの検査はミニメーターを付けた精密検査機を使って居るが、球の撰別等には楔溝を用ひ球の表面の傷の鑑別には肉眼識別法を使つて居ると云ふ一見原始的なものである。然かも球の眞球偏差は5000分の2耗、



第7圖 マロメの町

その直徑の許容誤差は 1600 分の 1 精度を出して居る。然かも其の工場は各國人に殆んど開放して參觀を許して居るのである。經驗と原料の材質及び研究の結果が物を云つて居ることが判るのである。

SKF の軸承工場は 1907 年 Sven Wingquist の設計した球軸承を製作する爲に建設されたもので Aktienbolag Sventka Kullagerfabriken と稱し、1916 年にはホフォルス製鋼所及び鐵鋼區を賣收し、その優秀なる鑛石と SKF の所有する森林から製造する木炭とを以て、優良な鋼を製造し之を各工場で使用して居る。獨逸に於ける分工場は、Vereinigt Kugellager A.G. と稱しシュワインフルトに第 1 工場及第 2 工場を有し又スツットガルトのパートカンスタットに第 3 工場を持つて居る。第 1 工場は轉子及轉子軸承の大型なものを製作し、又研究所を有し、第 2 工場は 6000 人の人員を擁し球軸承用の球を専門に製作し、第 3 工場は 3000 人の人員を擁し小型轉子軸承を製作して居るのである。SKF は此の外に瑞典のカトリネボルム、英國のルートン、米國のフィラデルフィヤ (2 工場)、佛國のボア・コロンブ及びイブリー、ポール・チエコのペルスタイン等に分工場を有し總從業員 28,000 人、内研究員 200 人を擁し、ゴーテボルグ工場の研究所は 25 人の研究員と 4,300 人の職工と 900 人の職員を擁して居る。而して獨逸のシュワインフルト第 1 工場は最大の研究陣營を有し有名な轉子軸承論 (Die Walzlager) と題する著書を出したユルゲンスマイヤーは此の工場の研究部に居る技師である。

之等世界 6ヶ國に跨る SKF の工場で一日に製作される球軸承の數は實に 24 萬個に達するとの事である。

工場の見學を終つて研究室に案内される。軸承疲労試驗室には 2 聯式軸承疲労試驗機 60 敷臺を

並べ荷重と回轉數を變化させて徹底した疲労試驗を行ひ各種の軸承の平均命數を求めて居る。其の方法は軸承の受ける靜的負荷と動的負荷とを考慮した極めて合理的なものであつて、説明を聞くに及んで SKF の球軸承が優良なのは其の材質のみならず、其の試験方法が極めて合理化されて居る事に依るものである事が判るのである。軸承が疲労に依つて破損するのは大部分がレースと球との接觸面に於ける材質の不均質が原因となつて僅か傷を生じ、之が擴大して行く爲であるとの事であつた。獨逸に於ける SKF の工場は大部分瑞典の木炭鐵と屑鐵とを混合して作つた鋼を使用して居るので、其の命數は瑞典のものよりも遙かに短いと云ふ事であつた。

疲労試驗室の隣室は材料試験室であつて球の壓縮破壊試験をやつて其の破斷面を見せて呉れる。破壊が試験機のヘッドと球との接觸面で起り、材質の不均等から起るものでない事を示すのであるが、之は全ての參觀者に一様に見せるプログラムになつて居るらしい。

終つて研究部長に球軸承の命數に關する理論を聞く。飛行機方面では英國のブリストルや米、獨の星型發動機の各種軸承、及ハミルトンスタンダードの可變ピツチプロペラの翼根部軸承及ピツチ變更カムの軸承、佛、米等の操縱素用滑車等は、SKF の製品が多い事は其の新しい製品型錄から之を知る事が出來た。

何れにしても此の北歐の小國瑞典も船舶用原動機や特殊工作機械と共に SKF の軸承では世界に君臨して居ると云つて差支へないのである。

午後はサンドヴィツケン製鋼會社のゴーテボルグ出張所の製品陳列所を參觀する。 Sandvickens Jernverks Aktienbolag は矢張り瑞典の木炭鐵を原料として特殊鋼及其の加工品を製作する會社である。飛行機の方の製品としてはオートジャイロ

回轉翼用管材桁、胴體用管材、脚車軸、不銹鋼薄鋼、桁材、流線中空支柱等であつて、最近は點熔接で組立てた不銹鋼薄鋼製の桁に用ひる波型鋼の製作等も行つて居る。嘗て英國の飛行機構造が空軍省の方針に依り鋼構造を全面的に採用した際に、此の會社の製品が果した役割は輕視出来ないのであつた。獨逸も亦此の會社の製品を大量に使用した事もあつたのであつた。

斯くして瑞典の代表的の材料會社を見學した後午後の汽車でマロメに向ふ。空は一點の曇りも無く晴れて海岸傳ひの汽車の旅は楽しいものであつた。青葉の梢越しに隱見する紺碧の海の色、綠の牧場を點綴する放飼ひの牛の悠々たる姿に北國の静かな春の陽差しがかけろつて居る。島は岩石を周圍に集めて積み、之を境界の垣として居て、一見して其の開墾の勞苦が忍ばれる。美しい綠の木木に包まれ、海を抱いた美しいパートスタットの

避暑地に華かな娘達が降りた頃に太陽は水平線に傾き、マロメに入る頃は家々の窓に灯が明るかつた。スカンデナビヤの航空路の玄關口マロメは同時に海運の要衝でもある。物資豊かなスカンデナビヤの最後の夜を樂しむべく散策に時を過し、之も獨逸に入つてからは當分飲む事の出來ない本物の珈琲に旅の疲れを癒してホテルに歸る。ホテルの前のバイエルン製薬會社の電飾に再び伯林を想出すのであつた。

翌日はトレボルグから、ザニニツツ迄獨逸國鐵の連絡船で東海を渡り、ポンメルンの風景を賞でつゝ夕方伯林に歸着する。東西軸にはユーゴースラビヤの貴賓を迎へる爲にハーゲンクロイツの旗とユーゴーの旗が春風に華かに翻つて居た。バルカンに對する獨逸のあはただしい外交政勢を想起して、スカンデナビヤのどかな風物に休まつた頭が急に緊張する思ひをしたのである。

岡本哲史著 著名翼型集

第 3 輯

- | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 63. N.A.C.A. 6406 | 74. N.A.C.A. 6212 | 85. N.A.C.A. 43012 |
| 64. N.A.C.A. 6412 | 75. N.A.C.A. 6612 | 86. N.A.C.A. 43015 |
| 65. N.A.C.A. 6415 | 76. N.A.C.A. 6712 | 87. N.A.C.A. 43018 |
| 66. N.A.C.A. 6418 | 77. N.A.C.A. 21012 | 88. N.A.C.A. 43021 |
| 67. N.A.C.A. 6421 | 78. N.A.C.A. 22012 | 89. N.A.C.A. 63009 |
| 68. N.A.C.A. 6506 | 79. N.A.C.A. 24012 | 90. N.A.C.A. 63012 |
| 69. N.A.C.A. 6509 | 80. N.A.C.A. 25012 | 91. N.A.C.A. 63015 |
| 70. N.A.C.A. 6515 | 81. N.A.C.A. 32012 | 92. N.A.C.A. 63018 |
| 71. N.A.C.A. 6518 | 82. N.A.C.A. 33012 | 93. N.A.C.A. 63021 |
| 72. N.A.C.A. 6521 | 83. N.A.C.A. 34012 | |
| 73. N.A.C.A. 4712 | 84. N.A.C.A. 43009 | |

一定價 50 錢